

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
目 的	「技術」「感性」「知性」「時代性」の各々の要素のひとつひとつを培うことによって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「できあがった高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	ファッション専門 課程	ファッションクリエイター 学科ファッションクリ エーターコースデザイン 専攻	3年昼	2722単位時間 (又は単位)	文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	490単位時間 (又は単位)	582単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	435人の内数	17人	29人	46人		

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2学期：</li> <li>前期：4月1日～9月30日</li> <li>後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成績表 (有・無)</li> <li>■ 成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価</li> </ul>
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学年始め：4月8日</li> <li>■ 夏 季：7月25日～8月31日</li> <li>■ 冬 季：12月21日～1月7日</li> <li>■ 学 年 末：3月20日～4月7日</li> </ul>	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス担任制 (有・無)</li> <li>■ 長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人 面談など</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア</li> <li>■ サークル活動 (有・無)</li> </ul>

主な就職先	<p>■主な就職先、業界          アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</p> <p>■就職率 84%</p> <p>■卒業生に占める就職者の割合81%          (平成26年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>ファッションビジネス検定          パターンメイキング検定 等</p>
-------	--	---------	--

中途退学の現状	<p>■中途退学者 40 名 ■中退率 9 %</p> <p>平成25年5月1日在学者 435 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成26年3月31日在学者 395 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由          欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組          担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a>		

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月16日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長

(開催日時)

第1回 平成26年9月27日 14:00~15:30

第2回 平成27年2月

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コンピュータ演習	ゴルフウェアの商品企画	株式会社理喜
ファッションデザイン	「ミスたつの」衣裳デザインと制作	徳永雅信製革所グループ たつの市
実習	メンズシャツの製作	シーアトリエ

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
藤本 栄子	ファッションクリエイター学科学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

## 授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションクリエイター学科デザイン専攻) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			実習Ⅰ	高品位な衣服を製作し、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。基礎縫い・スカート・ブラウス・ワンピース・ツーピース・部分縫い（パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート）等基礎的な衣服を製作する。	1通	330		△		○
○			実習Ⅱ	レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。	2通	300		△		○
○			製図(パターンメイキングⅠ)	教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート等に作図、整理することを通して、より高品位な製品作りの基礎となる知識・技術を修得する。	1通	180		△		○
○			パターンメイキングⅡ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	2通	120		△		○
○			ドレーピングⅠ	ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに作成する。	2前	60		△		○
○			ファッションドローイングⅠ	ファッションデザイン、プレゼンテーションに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の技術と知識をテーマに添った課題を制作することによって習得する。また、そのために必要な情報収集技術や活用法、発想法を考察する。	1通	90		△		○

○			ファッションドローイングⅡ	現在のアパレル商品の基本的なアイテムを実物サンプルを用いながら研究し、素材表現と合わせてスタイル画として描画することにより現在の市場に即した企画デザインの商品の特徴を備えたスタイル画を描画することを修得する。	2通	60		△		○
○			ファッションデザインⅠ	ファッションデザインの変遷と、民族・習慣による衣服の差異について理解を深めるための講義と演習。現在、流通しているファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する	1通	90		○	△	
○			ファッションデザインⅡ	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。また企業が求めるデザインとは何かを考察するなかで、アパレル業界の仕組みについても学ぶ。	2通	90		○	△	
○			色彩構成	「衣服は造形物である」との視点からファッションデザインのもととなる色彩構成について学ぶ。テキスト『デザインの色彩』を使用した講義をもとにデザインガッシュで課題制作を行いファッションイメージへ展開する。	1前	30		△		○
○			立体構成	「衣服は造形物である」との観点から、ファッションデザインのもととなる立体の構成について学ぶ。主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題製作を行い、造形の美しさを表現する。	1後	30		△		○
○			服飾素材論Ⅰ	講義によりアパレル素材の基本知識を体系的に修得する。またファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。	1後	30		○		
○			服飾素材論Ⅱ	ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。	2前	30		○		
○			コンピュータ演習Ⅰ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成する。メールアカウントの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける。	1後	30				○

○			コンピュータ演習Ⅱ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	2前	30				○
○			コンピュータ演習Ⅲ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオを作成し、企画提案する。	3通	120				○
○			服飾史	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	2後	30				○
○			ファッションビジネス論Ⅰ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	1後	30				○ △
○			ファッションビジネス論Ⅱ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	2後	30				○ △
○			ファッションビジネス論Ⅲ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	3通	60				○ △
○			縫製工学	工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業に関する専門知識や繊維製品の品質管理に関する知識を修得する。	3前	30				○
○			西洋美術史	初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。	3前	30				○

○			プレゼンテーション技術	商品企画等の説明のためのプレゼンテーションに必要な技術を、演習を通して修得する。	2 後	30		△	○	
○			RTW 技術	多様な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様の理解を深める。また、各自の創造性を生かした作品を製作発表することにより既製のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。	3 通	240		△		○
○			パターンメイキングⅢ - A	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	3 通	120		△		○
	○		パターンメイキングⅡ (選択)	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	2 後	60		△		○
	○		ファッションデザインⅡ (選択)	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。	2 後	60		△		○
○			ファッションドローイングⅢ - A	実習を通じてアパレル産業の中で必要なドローイング (スタイル画・アイテム画など) を学ぶアパレル産業で即戦力で通用するドローイング技術を身につける。	3 通	120		△		○
○			ファッションドローイングⅢ - B	実習を通じてアパレル産業の中で必要なドローイング (スタイル画・アイテム画など) を学ぶアパレル産業で即戦力で通用するドローイング技術を身につける。	3 通	60		△		○
○			ファッションデザインⅢ - A	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、ポートフォリオにまとめる。	3 通	120		△	○	
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	2 ・ 3	30		○		
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	40			○	



○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、 上田学園コレクション等で学習の成果を 発表する。	2 通	56			○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、 上田学園コレクション等で学習の成果を 発表する。	3 通	76			○	
合計				34 科目	2722 単位時間					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
目 的	「技術」「感性」「知性」「時代性」の各々の要素のひとつひとつを培うことによって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「できあがった高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	ファッション専門 課程	ファッションクリエイター 学科ファッションクリ エーターコースパター ン専攻	3年昼	2722単位時間 (又は単位)	文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	490単位時間 (又は単位)	582単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	435人の内数	17人	29人	46人		

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2学期：</li> <li>前期：4月1日～9月30日</li> <li>後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成績表 (有・無)</li> <li>■ 成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価</li> </ul>
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学年始め：4月8日</li> <li>■ 夏 季：7月25日～8月31日</li> <li>■ 冬 季：12月21日～1月7日</li> <li>■ 学 年 末：3月20日～4月7日</li> </ul>	卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>規定の出席日数を満たし規定の 課題を提出し、試験に合格する</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス担任制 (有・無)</li> <li>■ 長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人 面談など</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア</li> <li>■ サークル活動 (有・無)</li> </ul>

主な就職先	<p>■主な就職先、業界          アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</p> <p>■就職率 84%</p> <p>■卒業生に占める就職者の割合81%          (平成26年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 パターンメイキング検定 等
-------	--	---------	-------------------------------

中途退学の現状	<p>■中途退学者 40 名 ■中退率 9 %</p> <p>平成25年5月1日在学者 435 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成26年3月31日在学者 395 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由          欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組          担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a>		

### 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月16日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長

(開催日時)

第1回 平成26年9月27日 14:00~15:30

第2回 平成27年2月

### 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ファッションデザイン	「ミスたつの」衣裳デザインと制作	徳永雅信製革所グループ たつの市
実習	メンズシャツの製作	シーアトリエ

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
藤本 栄子	ファッションクリエイター学科学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションクリエイター学科パターン専攻) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			実習Ⅰ	高品位な衣服を製作し、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。基礎縫い・スカート・ブラウス・ワンピース・ツーピース・部分縫い（パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート）等基礎的な衣服を製作する。	1通	330		△		○
○			実習Ⅱ	レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。	2通	300		△		○
○			製図（パターンメイキングⅠ）	教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート等に作図、整理することを通して、より高品位な製品作りの基礎となる知識・技術を修得する。	1通	180		△		○
○			パターンメイキングⅡ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	2通	120		△		○
○			ドレーピングⅠ	ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに作成する。	2前	60		△		○
○			ファッションドローイングⅠ	ファッションデザイン、プレゼンテーションに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の技術と知識をテーマに添った課題を制作することによって習得する。また、そのために必要な情報収集技術や活用法、発想法を考察する。	1通	90		△		○

○			ファッションドローイングⅡ	現在のアパレル商品の基本的なアイテムを実物サンプルを用いながら研究し、素材表現と合わせてスタイル画として描画することにより現在の市場に即した企画デザインの商品の特徴を備えたスタイル画を描画することを修得する。	2通	60		△		○
○			ファッションデザインⅠ	ファッションデザインの変遷と、民族・習慣による衣服の差異について理解を深めるための講義と演習。現在、流通しているファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する	1通	90		○	△	
○			ファッションデザインⅡ	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。また企業が求めるデザインとは何かを考察するなかで、アパレル業界の仕組みについても学ぶ。	2通	90		○	△	
○			色彩構成	「衣服は造形物である」との視点からファッションデザインのもととなる色彩構成について学ぶ。テキスト『デザインの色彩』を使用した講義をもとにデザインガッシュで課題制作を行いファッションイメージへ展開する。	1前	30		△		○
○			立体構成	「衣服は造形物である」との観点から、ファッションデザインのもととなる立体の構成について学ぶ。主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題製作を行い、造形の美しさを表現する。	1後	30		△		○
○			服飾素材論Ⅰ	講義によりアパレル素材の基本知識を体系的に修得する。またファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。	1後	30		○		
○			服飾素材論Ⅱ	ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。	2前	30		○		
○			コンピュータ演習Ⅰ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成する。メールアドレスの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける。	1後	30				○

○			コンピュータ演習Ⅱ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	2前	30				○
○			服飾史	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	2後	30			○	
○			ファッションビジネス論Ⅰ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	1後	30			○	△
○			ファッションビジネス論Ⅱ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	2後	30			○	△
○			縫製工学	工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業に関する専門知識や繊維製品の品質管理に関する知識を修得する。	3前	30			○	
○			西洋美術史	初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。	3前	30			○	
○			プレゼンテーション技術	商品企画等の説明のためのプレゼンテーションに必要な技術を、演習を通して修得する。	2後	30			△	○
○			RTW技術	多様な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様の理解を深める。また、各自の創造性を生かした作品を製作発表することにより既製服のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。	3通	240			△	○



○			ドレーピングⅡ	トワールを使用しての立体裁断によって立体によるデザインを正確なパターンに落とし込む技術を学ぶ。各種デザインのディテール・シルエットを立体で表現する。	3通	120		△		○
○			パターンメイキングⅢ - A	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	3通	120		△		○
○			パターンメイキングⅢ - B	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	3前	60		△		○
	○		パターンメイキングⅡ (選択)	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	2後	60		△		○
	○		ファッションデザインⅡ (選択)	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。	2後	60		△		○
	○		ファッションドローイングⅢ - B	実習を通じてアパレル産業の中で必要なドローイング(スタイル画・アイテム画など)を学ぶアパレル産業で即戦力で通用するドローイング技術を身につける。	3通	60		△		○
○			ファッションデザインⅢ - B	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、ポートフォリオにまとめる。	3通	60		△	○	
○			コンピュータパターン演習	アパレルCADのソフトを理解し、パターンを引き、それに伴う仕様書等の書類を作成するための利用手順を修得する。各ソフトを利用し、仕様書・指示書をパターンに合わせ必要な内容を作成する。	3通	120			○	
	○		商品企画	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、プレゼンテーションする。	3通	60			○	

○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2 ・ 3	30			○		
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	40				○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2 通	56				○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	3 通	76				○	
合計				35 科目	2722単位時間						

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
目 的	「技術」「感性」「知性」「時代性」の各々の要素のひとつひとつを培うことによって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「できあがった高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	ファッション専門 課程	ファッションクリエイター 学科ファッションクリ イーターコーストクチュ ール専攻	3年昼	2722単位時間 (又は単位)	文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	490単位時間 (又は単位)	582単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	435人の内数	17人	29人	46人		

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2学期： <ul style="list-style-type: none"> <li>前期：4月1日～9月30日</li> <li>後期：10月1日～3月31日</li> </ul> </li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表 (有・無)</li> <li>■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価</li> </ul>
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め：4月8日</li> <li>■夏 季：7月25日～8月31日</li> <li>■冬 季：12月21日～1月7日</li> <li>■学 年 末：3月20日～4月7日</li> </ul>	卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>規定の出席日数を満たし規定の課題を提出し、試験に合格する</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制 (有・無)</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人面談など</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア</li> <li>■サークル活動 (有・無)</li> </ul>

主な就職先	<p>■主な就職先、業界          アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</p> <p>■就職率 84%</p> <p>■卒業生に占める就職者の割合81%          (平成26年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>ファッションビジネス検定          パターンメイキング検定 等</p>
-------	--	---------	--

中途退学の現状	<p>中途退学者 40 名 ■中退率 9 %</p> <p>平成25年5月1日在学者 435 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成26年3月31日在学者 395 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由          欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組          担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a>		

### 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月16日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長

(開催日時)

第1回 平成26年9月27日 14:00~15:30

第2回 平成27年2月

### 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ファッションデザイン	「ミスたつの」衣裳デザインと制作	徳永雅信製革所グループ たつの市
実習	メンズシャツの製作	シーアトリエ

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
藤本 栄子	ファッションクリエイター学科学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションクリエイター学科オートクチュール専攻) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			実習Ⅰ	高品位な衣服を製作し、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。基礎縫い・スカート・ブラウス・ワンピース・ツーピース・部分縫い（パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート）等基礎的な衣服を製作する。	1通	330		△		○
○			実習Ⅱ	レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。	2通	300		△		○
○			製図（パターンメイキングⅠ）	教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート等に作図、整理することを通して、より高品位な製品作りの基礎となる知識・技術を修得する。	1通	180		△		○
○			パターンメイキングⅡ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	2通	120		△		○
○			ドレーピングⅠ	ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに作成する。	2前	60		△		○
○			ファッションドローイングⅠ	ファッションデザイン、プレゼンテーションに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の技術と知識をテーマに添った課題を制作することによって習得する。また、そのために必要な情報収集技術や活用法、発想法を考察する。	1通	90		△		○
○			ファッションドローイングⅡ	現在のアパレル商品の基本的なアイテムを実物サンプルを用いながら研究し、素材表現と合わせてスタイル画として描画することにより現在の市場に即した企画デザインの商品の特徴を備えたスタイル画を描画することを修得する。	2通	60		△		○

○			ファッションデザインⅠ	ファッションデザインの変遷と、民族・習慣による衣服の差異について理解を深めるための講義と演習。現在、流通しているファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する	1通	90		○	△	
○			ファッションデザインⅡ	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。また企業が求めるデザインとは何かを考察するなかで、アパレル業界の仕組みについても学ぶ。	2通	90		○	△	
○			色彩構成	「衣服は造形物である」との視点からファッションデザインのもととなる色彩構成について学ぶ。テキスト『デザインの色彩』を使用した講義をもとにデザインガッシュで課題制作を行いファッションイメージへ展開する。	1前	30		△		○
○			立体構成	「衣服は造形物である」との観点から、ファッションデザインのもととなる立体の構成について学ぶ。主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題制作を行い、造形の美しさを表現する。	1後	30		△		○
○			服飾素材論Ⅰ	講義によりアパレル素材の基本知識を体系的に修得する。またファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。	1後	30		○		
○			服飾素材論Ⅱ	ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。	2前	30		○		
○			コンピュータ演習Ⅰ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成する。メールアドレスの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける。	1後	30				○
○			コンピュータ演習Ⅱ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	2前	30				○
○			コンピュータ演習Ⅲ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオを作成し、企画提案する。	3通	30			○	



○			服飾史	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの变迁を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	2 後	30		○		
○			ファッションビジネス論Ⅰ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	1 後	30		○	△	
○			ファッションビジネス論Ⅱ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	2 後	30		○	△	
○			縫製工学	工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業に関する専門知識や繊維製品の品質管理に関する知識を修得する。	3 前	30		○		
○			西洋美術史	初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。	3 前	30		○		
○			プレゼンテーション技術	商品企画等の説明のためのプレゼンテーションに必要な技術を、演習を通して修得する。	2 後	30		△	○	
○			RTW 技術	多様な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様を理解を深める。また、各自の創作性を生かした作品を製作発表することにより既製のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。	3 通	150		△		○
○			オートクチュール技術	自分サイズボディ、テーラードスーツ、ファンデーション、ベルベットワンピース、ケミカルレースブラウス等の作成を通し、それぞれの体型にあった服の作りの根源を見直し、基本的な縫製技術を踏まえたうえ、高級な素材での高度な裁断、縫製技術を修得する。	3 通	300		△		○

○			ドレーピングⅡ	トワールを使用しての立体裁断によって立体によるデザインを正確なパターンに落とし込む技術を学ぶ。各種デザインのディテール・シルエットを立体で表現する。	3通	120		△		○
○			パターンメイキングⅢ - A	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	3通	120		△		○
	○		パターンメイキングⅡ (選択)	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	2後	60		△		○
	○		ファッションデザインⅡ (選択)	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。	2後	60		△		○
○			ファッションデザインⅢ - B	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、ポートフォリオにまとめる。	3通	60		△	○	
○			ファッションビジネス論Ⅱ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。	3通	60		○	△	
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1・2・3	30		○		
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1通	40			○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2通	56			○	

○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	3 通	76			○	
合計				33 科目	2722単位時間					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06 - 6371 - 1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06 - 6371 - 1661			
目 的	「技術」「感性」「知性」「時代性」の各々の要素のひとつひとつを培うことによって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「できあがった高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	ファッション専門 課程	ファッションクリエイター 学科ファッションクリ イターコースメゾ*専 攻	3年昼	2722単位時間 (又は単位)	文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	490単位時間 (又は単位)	582単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	435人の内数	17人	29人	46人		

学期制度	■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～4月7日	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の 課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人 面談など	課外活動	■課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア ■サークル活動 (有・無)

主な就職先	<p>■主な就職先、業界          アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</p> <p>■就職率 84%</p> <p>■卒業生に占める就職者の割合81%          (平成26年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>ファッションビジネス検定          パターンメイキング検定 等</p>
-------	--	---------	--

中途退学の現状	<p>■中途退学者 40 名 ■中退率 9 %</p> <p>平成25年5月1日在学者 435 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成26年3月31日在学者 395 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由          欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組          担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a>		

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月16日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長

(開催日時)

第1回 平成26年9月27日 14:00~15:30

第2回 平成27年2月

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
キッズ実習	キッズウェアのデザインと制作	株式会社ブーフーウー
実習	メンズシャツの製作	シーアトリエ

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
藤本 栄子	ファッションクリエイター学科学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

## 授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションクリエイター学科メンズ専攻) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			実習Ⅰ	高品位な衣服を製作し、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。基礎縫い・スカート・ブラウス・ワンピース・ツーピース・部分縫い（パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート）等基礎的な衣服を製作する。	1 通	330		△		○
○			実習Ⅱ	レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。	2 通	300		△		○
○			製図(パターンメイキングⅠ)	教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート等に作図、整理することを通して、より高品位な製品作りの基礎となる知識・技術を修得する。	1 通	180		△		○
○			パターンメイキングⅡ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	2 通	120		△		○
○			ドレーピングⅠ	ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに作成する。	2 前	60		△		○
○			ファッションドローイングⅠ	ファッションデザイン、プレゼンテーションに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の技術と知識をテーマに添った課題を制作することによって習得する。また、そのために必要な情報収集技術や活用法、発想法を考察する。	1 通	90		△		○
○			ファッションドローイングⅡ	現在のアパレル商品の基本的なアイテムを実物サンプルを用いながら研究し、素材表現と合わせてスタイル画として描画することにより現在の市場に即した企画デザインの商品の特徴を備えたスタイル画を描画することを修得する。	2 通	60		△		○



○			ファッションデザインⅠ	ファッションデザインの変遷と、民族・習慣による衣服の差異について理解を深めるための講義と演習。現在、流通しているファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する	1通	90		○	△	
○			ファッションデザインⅡ	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。また企業が求めるデザインとは何かを考察するなかで、アパレル業界の仕組みについても学ぶ。	2通	90		○	△	
○			色彩構成	「衣服は造形物である」との視点からファッションデザインのもととなる色彩構成について学ぶ。テキスト『デザインの色彩』を使用した講義をもとにデザインガッシュで課題制作を行いファッションイメージへ展開する。	1前	30		△		○
○			立体構成	「衣服は造形物である」との観点から、ファッションデザインのもととなる立体の構成について学ぶ。主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題製作を行い、造形の美しさを表現する。	1後	30		△		○
○			服飾素材論Ⅰ	講義によりアパレル素材の基本知識を体系的に修得する。またファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。	1後	30		○		
○			服飾素材論Ⅱ	ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。	2前	30		○		
○			コンピュータ演習Ⅰ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成する。メールアカウントの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける。	1後	30				○
○			コンピュータ演習Ⅱ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	2前	30				○
○			コンピュータ演習Ⅲ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオを作成し、企画提案する。	3通	120			○	

○		服飾史	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	2後	30		○		
○		ファッションビジネス論Ⅰ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	1後	30		○	△	
○		ファッションビジネス論Ⅱ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	2後	30		○	△	
○		縫製工学	工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業に関する専門知識や繊維製品の品質管理に関する知識を修得する。	3前	30		○		
○		西洋美術史	初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。	3前	30		○		
○		プレゼンテーション技術	商品企画等の説明のためのプレゼンテーションに必要な技術を、演習を通して修得する。	2後	30		△	○	
○		メンズ実習	高品位なメンズアパレル商品は、デザイン性と機能美を合わせ持つ。実製作を通じてこのためのパターンメイキング、カッティング、ソーイングを一貫して学ぶ。	3通	360		△		○
○		パターンメイキングⅢ - A	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	3通	120		△		○
	○	パターンメイキングⅡ (選択)	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	2後	60		△		○

	○		ファッションデザインⅡ(選択)	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。	2 後	60		△		○
○			ファッションドローイングⅢ-B	実習を通じてアパレル産業の中で必要なドローイング(スタイル画・アイテム画など)を学ぶアパレル産業で即戦力で通用するドローイング技術を身につける。	3 通	60		△		○
○			ファッションデザインⅢ-B	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、ポートフォリオにまとめる。	3 通	90		△	○	
○			商品企画	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、プレゼンテーションする。	3 通	60			○	
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2 ・ 3	30		○		
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	40			○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2 通	56			○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	3 通	76			○	
合計				32 科目	2722 単位時間					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
目 的	「技術」「感性」「知性」「時代性」の各々の要素のひとつひとつを培うことによって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「できあがった高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	ファッション専門 課程	ファッションクリエイター 学科ファッションクリ エーターコースキッズ専 攻	3年昼	2722単位時間 (又は単位)	文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	490単位時間 (又は単位)	582単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	435人の内数	17人	29人	46人		

学期制度	■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～4月7日	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の 課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人 面談など	課外活動	■課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア ■サークル活動 (有・無)

主な就職先	<p>■主な就職先、業界          アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</p> <p>■就職率 84%</p> <p>■卒業生に占める就職者の割合81%          (平成26年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 パターンメイキング検定 等
-------	--	---------	-------------------------------

中途退学の現状	<p>■中途退学者 40 名 ■中退率 9 %</p> <p>平成25年5月1日在学者 435 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成26年3月31日在学者 395 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由          欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組          担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a>		

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月16日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長

(開催日時)

第1回 平成26年9月27日 14:00~15:30

第2回 平成27年2月

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
キッズ実習	キッズウェアのデザインと制作	株式会社ブーフーウー
実習	メンズシャツの製作	シーアトリエ

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
藤本 栄子	ファッションクリエイター学科学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションクリエイター学科キッズ専攻) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			実習Ⅰ	高品位な衣服を製作し、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。基礎縫い・スカート・ブラウス・ワンピース・ツーピース・部分縫い（パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート）等基礎的な衣服を製作する。	1通	330		△		○
○			実習Ⅱ	レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。	2通	300		△		○
○			製図（パターンメイキングⅠ）	教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート等に作図、整理することを通して、より高品位な製品作りの基礎となる知識・技術を修得する。	1通	180		△		○
○			パターンメイキングⅡ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	1通	120		△		○
○			ドレーピングⅠ	ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに作成する。	2前	60		△		○
○			ファッションドローイングⅠ	ファッションデザイン、プレゼンテーションに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の技術と知識をテーマに添った課題を制作することによって習得する。また、そのために必要な情報収集技術や活用法、発想法を考察する。	1通	90		△		○
○			ファッションドローイングⅡ	現在のアパレル商品の基本的なアイテムを実物サンプルを用いながら研究し、素材表現と合わせてスタイル画として描画することにより現在の市場に即した企画デザインの商品の特徴を備えたスタイル画を描画することを修得する。	2通	60		△		○



○			ファッションデザインⅠ	ファッションデザインの変遷と、民族・習慣による衣服の差異について理解を深めるための講義と演習。現在、流通しているファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する	1通	90		○	△	
○			ファッションデザインⅡ	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。また企業が求めるデザインとは何かを考察するなかで、アパレル業界の仕組みについても学ぶ。	2通	90		○	△	
○			色彩構成	「衣服は造形物である」との視点からファッションデザインのもととなる色彩構成について学ぶ。テキスト『デザインの色彩』を使用した講義をもとにデザインガッシュで課題制作を行いファッションイメージへ展開する。	1前	30		△		○
○			立体構成	「衣服は造形物である」との観点から、ファッションデザインのもととなる立体の構成について学ぶ。主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題制作を行い、造形の美しさを表現する。	1後	30		△		○
○			服飾素材論Ⅰ	講義によりアパレル素材の基本知識を体系的に修得する。またファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。	1後	30		○		
○			服飾素材論Ⅱ	ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。	1前	30		○		
○			コンピュータ演習Ⅰ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成する。メールアドレスの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける。	1後	30				○
○			コンピュータ演習Ⅱ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	2前	30				○
○			コンピュータ演習Ⅲ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオを作成し、企画提案する。	3通	120			○	

○		服飾史	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	2 後	30		○		
○		ファッションビジネス論Ⅰ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	1 後	30		○	△	
○		ファッションビジネス論Ⅱ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	2 後	30		○	△	
○		縫製工学	工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業に関する専門知識や繊維製品の品質管理に関する知識を修得する。	3 前	30		○		
○		西洋美術史	初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。	3 前	30		○		
○		プレゼンテーション技術	商品企画等の説明のためのプレゼンテーションに必要な技術を、演習を通して修得する。	2 後	30		△	○	
	○	キッズ実習	子供服のデザイナー・パタンナーに必要な知識を修得し、各サイズに応じた仕様・バランスを考慮して作品を製作する。ワンピース他4種の子供服を年齢サイズ別に製作する。	3 通	360		△		○
	○	パターンメイキングⅢ-A	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	3 通	120		△		○
	○	パターンメイキングⅡ(選択)	基本パターンから各種デザインパターンの理論的な展開方法を学び、各種アイテムの工業パターンの作成までを修得する。	2 後	60		△		○

	○		ファッション ドローイング Ⅲ - B	実習を通じてアパレル産業の中で必要なドローイング（スタイル画・アイテム画など）を学ぶアパレル産業で即戦力で通用するドローイング技術を身につける。	2 通	60		△		○
	○		ファッション デザインⅢ - A	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、ポートフォリオにまとめる。	3 通	120		△	○	
	○		ファッション デザインⅢ - B	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、ポートフォリオにまとめる。	3 通	60		△	○	
	○		商品企画	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、プレゼンテーションする。	3 通	60			○	
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2 ・ 3	30		○		
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	40			○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2 通	56			○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	3 通	76			○	

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
目 的	「技術」「感性」「知性」「時代性」の各々の要素のひとつひとつを培うことによって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「できあがった高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	ファッション専門 課程	ファッションクリエイター 学科コシツ&ロー タファッション専攻	3年昼	2722単位時間 (又は単位)	文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	490単位時間 (又は単位)	582単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	435人の内数	17人	29人	46人		

学期制度	■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～4月7日	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の 課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人 面談など	課外活動	■課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア ■サークル活動 (有・無)

主な就職先	<p>■主な就職先、業界          アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</p> <p>■就職率 84%</p> <p>■卒業生に占める就職者の割合81%          (平成26年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>ファッションビジネス検定          パターンメイキング検定 等</p>
-------	--	---------	--

中途退学の現状	<p>中途退学者 40 名 ■中退率 9 %</p> <p>平成25年5月1日在学者 435 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成26年3月31日在学者 395 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由          欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組          担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a>		

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月16日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長

### (開催日時)

第1回 平成26年9月27日 14:00~15:30

第2回 平成27年2月

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ファッションデザⅢ	リボン・レースを使用した作品制作	株式会社 SHINDO
実習	メンズシャツの製作	シーアトリエ

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
藤本 栄子	ファッションクリエイター学科学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

## 授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションクリエイター学科ゴシック&ロリータファッションコース) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			実習Ⅰ	高品位な衣服を製作し、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。基礎縫い・スカート・ブラウス・ワンピース・ツーピース・部分縫い（パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート）等基礎的な衣服を製作する。	1通	330		△		○
○			実習Ⅱ	レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。	2通	300		△		○
○			実習（ゴシック&ロリータファッション）	実物製作により、デザイン・パターンメイキングを含めた総合的な服作りを習得する。また産業界の制約を知り、ゴシック&ロリータファッションの商品企画全般の仕事を実践し習得する。	3通	360		△		○
○			ドレーピングⅠ	ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに作成する。	2前	60		△		○
○			ドレーピングⅡ	トワールを使用しての立体裁断によって立体によるデザインを正確なパターンに落とし込む技術を学ぶ。各種デザインのディテール・シルエットを立体で表現する。	3通	120		△		○
○			製図（パターンメイキングⅠ）	教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート等に作図、整理することを通して、より高品位な製品作りの基礎となる知識・技術を修得する。	1通	180		△		○



○			パターンメーキングⅡ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	2通	120		△		○
○			ファッションドローイングⅠ	ファッションデザイン、プレゼンテーションに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の技術と知識をテーマに添った課題を制作することによって習得する。また、そのために必要な情報収集技術や活用法、発想法を考察する。	1通	90		△		○
○			ファッションドローイングⅡ	現在のアパレル商品の基本的なアイテムを実物サンプルを用いながら研究し、素材表現と合わせてスタイル画として描画することにより現在の市場に即した企画デザインの商品の特徴を備えたスタイル画を描画することを修得する。。	2通	60		△		○
○			ファッションドローイングⅢ	実習を通じてアパレル産業の中で必要なドローイング（スタイル画・アイテム画など）を学ぶアパレル産業で即戦力で通用するドローイング技術を身につける。	3通	60		△		○
○			ファッションデザインⅠ	ファッションデザインの変遷と、民族・習慣による衣服の差異について理解を深めるための講義と演習。現在、流通しているファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する	1通	90		○	△	
○			ファッションデザインⅡ	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。また企業が求めるデザインとは何かを考察するなかで、アパレル業界の仕組みについても学ぶ。	2通	90		○	△	
○			ファッションデザインⅢ	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、ポートフォリオにまとめる。	3通	120		△	○	
○			ゴシック&ロリータ論	ゴシック&ロリータの基礎的な知識と文化論的な背景を踏まえて、実際に自分自身でコンセプトの立案を行い、そのコンセプトに基づいてゴシック&ロリータのデザインを行い、仮想コレクションを展開する。	2通	90		○	△	
○			色彩構成	「衣服は造形物である」との視点からファッションデザインのもととなる色彩構成について学ぶ。テキスト『デザインの色彩』を使用した講義をもとにデザインガッシュで課題制作を行いファッションイメージへ展開する。	1前	30		△		○

○			立体構成	「衣服は造形物である」との観点から、ファッションデザインのもととなる立体の構成について学ぶ。主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題製作を行い、造形的美しさを表現する。	1 後	30		△		○
○			服飾素材論Ⅰ	講義によりアパレル素材の基本知識を体系的に修得する。またファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。	1 後	30		○		
○			服飾素材論Ⅱ	ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。	2 前	30		○		
○			縫製工学	工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業に関する専門知識や繊維製品の品質管理に関する知識を修得する。	3 前	30		○		
○			コンピュータ演習Ⅰ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成する。メールアカウントの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける。	1 後	30				○
○			コンピュータ演習Ⅱ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	2 前	30				○
○			コンピュータ演習Ⅲ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオを作成し、企画提案する。	3 通	60			○	
○			服飾史	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	2 後	30		○		
○			西洋美術史	初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。	3 前	30		○		

○			プレゼンテーション技術	商品企画等の説明のためのプレゼンテーションに必要な技術を、演習を通して修得する。	2 後	30		△	○	
○			ファッションビジネス論Ⅰ	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。	1 後	30		○	△	
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2 ・ 3	30		○		
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	40			○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	2 通	56			○	
○			研究発表演習	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	3 通	76			○	
合計				35 科目	2722単位時間					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661			
目 的	「技術」「感性」「知性」「時代性」の各々の要素のひとつひとつを培うことによって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「できあがった高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	ファッション専門 課程	ファッションクリエイター 学科トップクリエイター コース	3年昼	2722単位時間 (又は単位)	文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	490単位時間 (又は単位)	582単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	435人の内数	17人	29人	46人		

学期制度	■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～4月7日	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の 課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人 面談など	課外活動	■課外活動の種類 リレーションや地域ボランティア ■サークル活動 (有・無)

主な就職先	<p>■主な就職先、業界          アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業</p> <p>■就職率 84%</p> <p>■卒業生に占める就職者の割合81%          (平成26年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>ファッションビジネス検定          パターンメイキング検定 等</p>
-------	--	---------	--

中途退学の現状	<p>中途退学者 40 名 ■中退率 9 %</p> <p>平成25年5月1日在学者 435 名 (平成25年4月入学者を含む)</p> <p>平成26年3月31日在学者 395 名 (平成25年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由          欠席による学業不振や経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組          担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.ucf.jp/">http://www.ucf.jp/</a>		

### 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月16日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長

(開催日時)

第1回 平成26年9月27日 14:00~15:30

第2回 平成27年2月

### 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
クリエイションテクニク&デザイン	東京コレクションのファッションショーを見学し、コレクションの商品構成、トレンド、コンセプトメイクなどを学び企業研究を行う。	東京ファッションデザイナー協議会
クリエイションデザイン	海外コンテストに向けて個々のテーマに基づきポートフォリオを作成・プレゼンテーションし、講師の評価を受ける。	株式会社リトゥンアフターワーズ

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
藤本 栄子	ファッションクリエイター学科学生保護者
赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

## 授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッションクリエイター学科トップクリエイターコース) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			実習Ⅰ	高品位な衣服を製作し、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。基礎縫い・スカート・ブラウス・ワンピース・ツーピース・部分縫い（パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート）等基礎的な衣服を製作する。	1通	300		△	○	
○			実習Ⅱ	レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。	2通	210		△	○	
○			クリエイションテクニック&デザインⅠ	通常の実習授業と違ったオリジナリティに富んだデザイン方法で作品製作する。展示会形式でプレゼンテーションも行う。	1通	60		△	△	○
○			クリエイションテクニック&デザインⅡ	通常の実習授業と違ったオリジナリティに富んだデザイン方法で企画し、作品製作する。展示会形式でプレゼンテーションも行う。	2通	90		△	△	○
○			ドレーピングⅠ	ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに作成する。	2後	60				○
○			ドレーピングⅡ	トワールを使用しての立体裁断によって立体によるデザインを正確なパターンに落とし込む技術を学ぶ。各種デザインのディテール・シルエットを立体で表現する。	3通	120				



○			製図（パターンメイキングⅠ）	教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート等に作図、整理することを通して、より高品位な製品作りの基礎となる知識・技術を修得する。	1通	180		△		○
○			パターンメイキングⅡ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	2通	120		△		○
○			パターンメイキングⅢ	原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。	3通	120		△		○
○			クリエイションドローイングⅠ	ファッションデザイン、プレゼンテーションに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の技術と知識をテーマに添った課題を制作することによって習得する。また、プレゼンテーションに活用できるイメージスケッチ、デザイン画制作を目指し、それに必要な情報収集技術や活用法、発想法を考察する。	1通	120		△		○
○			クリエイションドローイングⅡ	実習をとおしてファッションデザインに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の為の絵画技術と知識、また情報管理、情報を使った発想方法を習得する。	2通	120				○
○			クリエイションドローイングⅢ	実習を通じてアパレル産業の中で必要なドローイング（スタイル画・アイテム画など）を学ぶアパレル産業で即戦力で通用するドローイング技術を身につける。	3通	120				
○			クリエイションデザインⅠ	ファッションデザインの変遷と、民族・習慣による衣服の差異について理解を深めるための講義と演習。現在、流通しているファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する	1通	120				○
○			クリエイションデザインⅡ	消費者側から機能性からなど多様な視点からファッションデザインし、商品をコーディネートで企画できる能力を演習を通じて養う。また企業が求めるデザインとは何かを考察するなかで、アパレル業界の仕組みについても学ぶ。	2通	120		△	△	○

○			クリエイションデザインⅢ	クライアントの求める商品コンセプトを理解し、マーケティング的観点から企画・立案し、ポートフォリオにまとめる。	3通	120				
○			色彩構成	「衣服は造形物である」との視点からファッションデザインのもととなる色彩構成について学ぶ。テキスト『デザインの色彩』を使用した講義をもとにデザインガッシュで課題制作を行いファッションイメージへ展開する。	1前	30		△		○
○			立体構成	「衣服は造形物である」との観点から、ファッションデザインのもととなる立体の構成について学ぶ。主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題製作を行い、造形の美しさを表現する。	1後	30		△	△	○
○			服飾素材論Ⅰ	講義によりアパレル素材の基本知識を体系的に修得する。またファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。	1後	30		○		
○			服飾素材論Ⅱ	ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。	2前	30		○		
○			縫製工学	工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業に関する専門知識や繊維製品の品質管理に関する知識を修得する。	3前	30		○		
○			コンピュータ演習Ⅰ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成する。メールアカウントの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける。	1後	30			△	○
○			コンピュータ演習Ⅱ	Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	3通	120				

○		コンピュータパターン演習 I	アパレルCADのソフトを理解し、パターンを引、それに伴う仕様書等の書類を作成するための利用手順を修得する。	2後	30			△	○
○		コンピュータデザイン演習	Illustrator&Photoshop のデザインソフトを活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使してポートフォリオが作成できる。	2通	60			△	○
○		服飾史	服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。	2前	30		○		
○		西洋美術史	初期ルネサンス美術から 20 世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。	3後	30		○		
○		ファッションビジネス論 I	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解する。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。	2後	30		○	△	
○		ファッションビジネス論 II	ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、ブランドを企画する。グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで調べ、ファッションビジネスを考える。	3前	60		○	△	
合計				28	科目	2722 単位時間			